

会員と千葉県連盟をつなぐ

# ちばニュース

2013年5月号



## 千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2013年5月1日発行 通巻241号(毎月1回発行)

### 楽しい山行を

### 悲しい山行にしないで！！

## 5月号目次

・ 目次	2
・ 花博士の花便り	3
・ ハイキング委員会、リレーエッセー	4
・ 自然保護委員会、リレーエッセー	6
・ 関東ブロック救助隊交流集会報告	7
・ ウィークデイ山行案内	10
・ 県連統一クリーンハイク案内	11
・ 第7回ワンコイン講習会	12
・ 山筋ゴーゴー体操パンフ紹介	13
・ 「ちば労山ゆう」通常総会報告	14
・ ゆうたより NO3	17
・ 県連便り	19
・ 5月・6月予定表	20

### 表紙説明

4月25日NPO法人「ちば労山ゆう」の通常総会が開催されました。2012年度は正会員87名で、出席数26名、委任状38名で総会は成立し、おだやかな雰囲気で見聞交換が行われました。

今年度から、3名の理事が参加し9名の役員体制が確立しました。2年目の活動は、更に充実すると思います。引き続き、参加協力をお願いします。

「ちば労山ゆう」は、常時会員を募集しています。労山会員の方は、会役員・県連理事に連絡をお願いします。

労山会員でない方は、「千葉県勤労者山岳連盟」ホームページ、NPO法人「ちば労山ゆう」への問い合わせに連絡をお願いします。

## 花博士の花便り

ふわくハイキングサークル 中原 紀代治

3月は、サクラの花があつと言う間に終り4月は忙しい。シバザクラを観にドイツ村へ、4月13日に、東大演習林で、森林インストラクターの交流研修会に参加した。一般公開される林道で、シコクハタザオ、サツマイナモリ、ヤマドリソウ、フデリンドウなど草花、ヒメウツギ、モミジ類、ヤマコウバシの花など樹木の花が観られました。

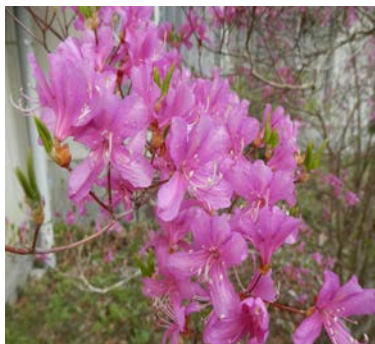
ツツジは、崖に咲少し咲いていましたが今は、山より庭で見られます。

日本のツツジ科の植物には。

ツツジ属の他、ヨウラクツツジ、ドウダンツツジ、アセビ、高山のツガザクラ、スノキ、ウラシマツツジ、イワヒゲ、など、22属が有ります。

ツツジ属の花はサツキ、シャクナゲなど約40種あると言われその中での、園芸種はさらに多く有り名前は良く分かりません。

千葉の野生種のツツジは、ミツバツツジ(おしべ5個)、ヒカゲツツジから咲きます、キヨスミミツバツツジ(おしべ10個)、ヤマツツジが最後に咲きます。関東では、トウゴクミツバツツジ、ムラサキヤシオツツジ、アカヤシオ、ゴヨウツツジ(シロヤシオ)はツツジとは思えない大木になり松の木肌に似ることからマツハダとも呼ばれる。高草原でレンゲツツジや小さい花が咲くコメツツジ、ミヤマホツツジなどの花が咲きます。私の故郷の鹿児島では霧島山系のミヤマキリシマが有名です。6月に予定のウイークディ山行の古峰ヶ原高原は、ツツジの名所です、ミツバ、ゴヨウツツジ、ヤマツツジの他にモチツツジの品種が有ります。前回は確認できませんでしたが、楽しみにしています。



キヨスミミツバツツジ



シコクハタザオ



ヒカゲツツジ

## パイネ、フィッツロイ山群トレッキング

(記 千葉こまくさハイキングクラブ 小山政夫)

早くも一年あまりになるが昨年(2012)2月26日から11日間パタゴニアのパイネとフィッツロイ山群のトレッキングに参加した。パタゴニアは南米大陸南端でチリーとアルゼンチンに跨る台地。チリー側は大平洋からの湿分の多い風がアンデス山脈に当たり雨雪をもたらす広葉樹に覆われるが、アルゼンチン側は湿分を落としたから風が吹きさらすため乾燥した草地となり羊の牧場がどこまでも広がる。

成田を午後出発した後12時間ほどで乗継ぎ地アトランタに着く。さらに10時間ほど飛んで翌朝9時サンチャゴ着。市内観光した後夕刻再び4時間余り飛んで南端の町プンタアレナス着。23時を回る。延25時間余りの長旅。翌3日目マゼランの銅像が建つ公園前のホテルをマイクロバスで発ちパイネ国立公園を目指して北上する。パイネグランデやクエルノデルパイネ(パイネの角)を望む大きな氷河湖ペオエ湖畔を走り夕刻トーレス小屋に着く。前はアルミランテニエド峰。

翌日から3日間はクエルノデルパイネ、トーレスデルパイネ(パイネの塔)へのトレッキング。初日は左手にノルデンキョルド湖、右手に岩峰群を見ながらクエルノ小屋まで。湖畔の小屋からまさに角状の岩峰を間近に見る。翌日はトーレスデルパイネを見るためアルミランテ山麓を回ってチレーノ小屋を目指す。とげのある灌木カラファテが生い茂る原野を進む。実は熟すとブルーベリーに似て青紫になるが未だ赤く硬い。コウノトリに似た鳥が時々姿を現す。上空高くコンドルが舞う。夕刻小屋に着くころ雨が来た。目的の山は霧の中。

翌朝は雨。パイネの塔を見に出掛けたが霧で見えない。あきらめて一昨日のトーレス小屋に下る。

7日目チリー最後の日は晴れ。オレンジ色に輝くパイネの塔を見ることが出来た。朝食後国境へ。軍が駐留しているが平穏な様子だった。出入国手続きの後アルゼンチン側の車に乗り替える。乾燥した草原がどこまでも続く。途中エスペランサ(希望)の町で昼食。ビーフカツレツ、ポテトサラダ。ビールは3<sup>ドル</sup>。再び牧場地帯を走る。柵は延々と続くが羊の姿は全く見えない。ダチョウに似たチョイケやパタゴニアの貴公子と言われるグアナコの群れが退屈さを紛らわす。夕刻アルゼンチン湖畔の保養地カラファテに着く。ホテルドンキホーテ泊。夕食は山の上の羊肉アッサードの店に出掛ける。八つ裂き姿の羊を炉辺で焼いて食べる。ガウチョの料理だ。マテ茶も啜る。

8日目はペリトモレノ氷河観光。氷河終端部の幅5km、奥行き35kmもある大氷河。パタゴニア氷河の中でも最もアクセスが容易で美しいので人気がある。上流での湿分の供給量が多いためどんどん氷河が形成される。流下速度は2m/日と早いので終端部では数分毎に60mほどの氷壁が轟音と共に崩落する。ボートクルーズも楽しんだ後カラファテへ戻り、荷物を積んで次なる目的地フィッツロイのあるロスグラシアール(氷河)国立公園に向かう。左手西側にビエドマ氷河と湖を見ながら登山の拠点チャルテンを目指して北上する。夕方遅く寒々とした町に着く。登山基地とは言え商店も見当たらず実に侘しい町。ホテルラスピエドラス(岩)泊。

9日目これから3日間はトレッキングのハイライト。生憎氷雨交じりの天気の下フィッツロイBCに向かう。4時間ほど歩き13時にBCのあるポアンスノーに着く。着替えなどの荷物はリヤーマが運ぶ。現地ガイド2名がテント設営、食事の準備もする。フィッツロイ(3405m)は上部に雲が掛ってなかなか全貌がつかめない。ガイドは明日も天気は同じ見込み故今日の内に目的のトレス湖(1,200m)を往復するという。軽食を摂った後出かける。BC(745m)から450mの登り。2時間半ほどで湖に着く。風が強い。主峰上部は相変わらず雲が取れないが隣のポアンスノー(3002m)、サンテグジュベリ(2558m)は鑿でそいだ様な姿を現す。サンテグジュベリは嵐の中をプロペラ機で郵便物を運ぶ小説「夜間飛行」や「星の王子様」の作者の名に因む。主峰は日本の山野井氏が厳冬期初登の偉業を成し遂げている。オベリスクみたいな岩峰をよくもまあ登れたものだと感心する。40分程景色を楽しんでから下山する。フィッツロイは先住民の言葉で「白い煙の山」を意味するとか。湿分を含んだ空気が冷えた岩峰に当たると周りに雲を発生するようだ。

10日目。次なる目標はセロトーレ(塔ノ岳)のBC。前夜は嵐。南極ブナをゆする音が激しく殆ど眠れず仕舞い。昼間は左程でないのに夜は決まって強風が吹き荒れる。日本から持参の山菜おこわと味噌汁の朝食。矢張り舌にや

さしい。霧雨が残る中を出発。繋がった二つの湖マドレ湖（母）とイーハ湖（娘）を見ながらなだらかな道を下る。樹林帯に入ると南極ブナの枝に付着したパンデインデオ（インデオのパン）を見る。キノコの種類で色、形は日本のキンカンにそっくり。齧ってみたが無味、無臭。午後2時頃 BC に着く。ここは食堂用に大型ドーム型テントがある。夕食までの間みんなでワインを飲む。アルコールは通訳の要らない世界の共通語だ。

翌11日目。最後の目標であるセロトーレを見るため近くのトーレ湖まで登る。強風と霧雨。時々雲の切れ目から氷河と中腹までが見えるが頂部はなかなか現れない。諦めてテントに戻りチャルテンへ下山。途中ようやく天気が回復してやっとフィッツロイ山群の全貌を見る。これで何とか目的の山々を見ることが出来た。登山センターに寄った後長い道のりを再びカラファテの町に戻る。

この地には「カラファテの実を食べた者は再びこの地に返る」との言い伝えがある。20年ほど前にペリトモレノ氷河を見に来た折これを聞き「出来ることならいつか又訪ねたいもの」と念じていたが今回ようやく念願が叶った。



クエルノデルパイネ



トーレスデルパイネ



ペリトモレノ氷河



フィッツロイ山群全景

## 横根山登山報告（イワウチワ愛での春の里山）

自然保護委員 荻野孝（千葉こまくさHC）

茨城県高萩市、花貫ダム湖を見下ろすように連なる横根山から都室山。横根山(389m)、都室山(450m)はイワウチワの群生地として紹介されており知る人ぞ知るイワウチワの群落ポイントです。花時を心待ちしている方も多い低山で斜面いっぱいには花が広がり、登山路は期待を裏切らない素晴らしいイワウチワロードです。イワウチワは里山に春を告げる

イワウメ科の多年草で低山の林や岩場に生え高山には無いと聞く。葉は円形から広円形で4月頃になると花茎を伸ばし淡い紅色の小さな可憐な花を咲かせ春の山を彩ります。花好きの仲間9名で4月13日、快晴で絶好の登山日和に山桜が朝日に輝く桜公園から横根山、都室山へと登り都室山名馬里ヶ淵分岐に戻り名馬里ヶ淵へ下るコースを一周してきました。



登山口からキクザキイチゲが咲く花貫川沿いを少し下り尾根につく。まもなくイワウチワの群生地。横根山への登山道は半分位イワウチワの群生が見られます。



ミツバツツジの蕾も開き始め稜線には満開の山桜も多く見られるのんびりとお花見登山です。都室山、名馬里ヶ淵分岐からの下りも長くイワウチワの群生地が続き可憐な春の花を満喫堪能し名馬里ヶ淵へ下山花貫川を無事渡渉し桜公園に戻る。

NPO さとやま委員会の皆様の「自然に親しみ自然を守り自然を楽しむ活動」のお陰でしょう。急登の箇所にはロープも張られ各所に道標も設置されており安心安全登山が初心者にも出来る素晴らしい花の名山でした。此の儘豊かな自然が残っていて欲しい思う気持ちになる楽しいお花見登山でした。



## 2013年 関東ブロック救助隊交流集会報告

2013年4月15日

救助隊副隊長 徳永 和也 山の会「岳樺クラブ」

4月13日(土)～14日(日)、関東ブロック協議会主催、東京都勤労者山岳連盟(都連盟)主管の「関東ブロック救助隊交流集会に参加してきました。

関東ブロック救助隊の猛者たち、約30名が谷川岳、土合山の家が集まった。千葉労山からは、加倉井さん@松戸山の会、後藤さん@かがりび山の会、広木愛子さん@ちば山の会、渡辺さん@ちば山の会、古畑さん@岳樺クラブと僕、そして「見学」の広木会長の計7名が参加しました。

(加倉井さんと後藤さんは、ご都合で13日のみの参加)

今回参加する大きな目的は3つ。

- ・来年千葉県連救助隊が主幹なので段取りや進行などの進め方をチェックする。
- ・本訓練の内容と、千葉県連の救助隊活動の方針に齟齬がないか。
- ・関東ブロック救助隊の方々との親睦を深める。

としました。

2日間の訓練は、想定した遭難者(要救)の搜索と搬出で、本部及び搜索隊2個班を結成し、1日目にシート梱包方法と、引き上げ/引き下ろしシステムの机上訓練。

2日目はそれぞれの班で先発チームと後発チームに分けて08:00、土合山の家を出発。搜索～梱包～搬送といった内容でした。

13日(土)12:00に参加受付を行い資料を頂く。技術資料の他、参加メンバー一覧もあり、既に各班のメンバーが決められていた。

僕と渡辺さんはB班。隊長は都連盟の中村さん。副隊長は埼玉県連の徳重さん。

A班は広木(愛)さんと古畑さん。隊長に都連盟の宮崎さん、副隊長は群馬県連の茂木さん。

後ほど記しますが、実はこの時点で我がBチームは指揮統制がA班より機能していなかったのかもしれない。

13:00、全員集合しオリエンテーリング後、各班毎にシート梱包と引き上げ/引き下ろしシステムの技術をおさらいする。

まずは、都連盟救助隊によるシート梱包のデモンストレーション。

使用する装備は、9～9.5mm×50mロープ一本、ブルーシート、環ビナ8枚以上、ビナ3枚以上、シート梱包後にストレッチャー(搬送器具)。

必要な結び方は、インクノット(クローブヒッチ)、ラビットノット、ナインノット、バタフライノット、オーバーハンドノット、ハーフピッチ。

我々が千葉県連で推奨している、「7点セットとツェルト」と違って、専門的である。

ここで、冒頭の「コンパニオン・レスキュー」の続きを書きます。

今まで「セルフ・レスキュー」=自分たちでできることやる。と思っていましたし、県連のイベントなどで「セルフ・レスキュー」として登山技術や講習会を開催していました。

ところが世間では「セルフ・レスキュー」とは「自己脱出」のことを指すようです。

仲間たちでレスキューするのが「コンパニオン・レスキュー」だそうです。

話を戻して、都連盟救助隊によるシート梱包は、「ワーク・レスキュー」。つまり救助隊組織が専門の装備を持って救助に当たることを前提にしている。

「装備の準備から現場に向かう時間を考えると、それまでにヘリで救助されるのでは？」の質問をしたところ、確かに現実的ではない場合もあるかもしれない。と仰っていた。

ただ、都連盟の臼井隊長や川島副隊長は、日本で山岳救助が整備されているのは、ごく一部の地域だけ。

それ以外の地域では、やはり山岳会などのアマチュア救助隊に頼らざるを得ないことも多いと仰っていた。

しかし、千葉県連で推奨している必携「7点セットとツェルト」、そしてインクノット、オーバーハンドノット（ループ）。この二つの結び方だけで、救助隊が到着する前にシート梱包し、ヘリでピックアップできるところまでの搬送もできる。全然こちらの方が現実的じゃあないか。と、意見をしようと思っていたのですが、「ワーク・レスキュー」も大事だが、「コンパニオン・レスキュー」の重要性も仰っていたので、我々の方針と方向性は間違っていなかったことが分かった。

引き上げ／引き下ろしについては、引き上げは1／3システム。引き上げはペツル社のストップを使って実施した。この部分は特に新しい技術や話題はないので割愛します。

16：00からは、各班ごとに明日の役割分担、装備分担などを決めるミーティングを行う。必要装備の無線機。今回は430MHz帯を使用する。千葉県連の無線機はVHFしか使えないことが判明。

17：00から入浴、そしておなじみの松葉ガニ料理。

場所を変えて、全国連盟遭難対策部、川島事務局長による最近の遭難事故の傾向を中心とした講和。そして各連盟の活動報告。

その後、懇親会。いつものことですが、日替わっても最後まで飲んでいました。

14日（日）朝食後、08：00に集合。全体ブリーフィング後、各班ごとに行動する。A班は教科書通り、と言いましょうか、通信担当や記録係など、細かい役割分担をしていたが、我がB班は為すがまま方式。隊長と副隊長の役割からはっきりしないのだから仕方ない。多国籍軍の寄り集まり一夜漬けの割に、群馬救助隊の実践的な行動が刺激になったのと、昨夜のコミュニケーションが功を奏したのか、先読み行動と声掛け確認で、搜索～要救発見～掘り出し～梱包。同時に支点工作、引き上げ準備、次ピッチの支点工作など、動きに無駄はなかったように感じた。

12：00には土合山の家に戻って、装備整備と昼食後、反省会を行いすべての訓練が事故もなく終了しました。

都連盟救助隊副隊長の中村さんからは、今年の秋、東京・千葉合同で救助隊訓練のお誘いを頂いた。ぜひ前向きに考えていきたい。

また、10か月後は我々千葉県連の主幹で開催される。

全く、何も決まっていないので、早急に決めていこう。

うれしいことに、都連盟の原口さんが連絡事項の配信や段取りのポイントなどをご教示頂けることになった。

各連盟の隊長や皆さんにお疲れ様のご挨拶をし、「徳永さん、来年頑張るって」などと言われてしまうと、すぐ調子にのって「ありがとうございます。よろしく願います」などと言って、



千葉に向けて車を発進させた。

今回の3つの目的は果たせたものの、本レポートの作成、アマチュア無線免許の取得など、個人的な課題を最後に頂き、滅多に使わない頭をひねらせています。

今回も参加させて頂き、ありがとうございました。

以上

#### ◆ 見学報告

千葉県連盟 会長 広木 国昭

千葉県連は、次回主管が予定されている。今回は、訓練には参加せずに次回準備のために見学者として参加した。宿泊施設との打ち合わせ、各地方連盟への連絡方法、訓練実施場所など事務方の仕事について学ぶことが出来た。

- ・ 梱包方法について。



梱包方法については、各県連盟が独自の方法を研究開発し実施している。

今回は、都連盟の「N式シート梱包」を学習した。主管連盟の梱包方法を紹介し、学習できる利点はあるが、関東ブロックとして、共通の方法を採用すれば、また違った大きな利点もあると思われる。基本的に、大きな違いはなくちょっとしたポイントが違うだけである。

今後の課題として、受け止めたい。

- ・ 引き上げ、搬出訓練について。

遭難事故を想定し、前日マチガ沢に遭難者に見立てた、ビーコンを装備したダミーを埋設しておいて、捜索・搬出訓練を実施した。

参加者を、A・Bチームの先発隊・後発隊に分けてそれぞれの任務分担を確認しての訓練である。ビーコン、グローブ、スコップを使用して埋没者を掘り出し、前日に学んだ梱包、搬出を実施した。A・Bチームのリーダー、サブリーダーには、群馬県連・埼玉県連・栃木県連の救助隊長、都連盟の副隊長が陣頭指揮にあたった。

それぞれのリーダーは、経験豊富で実践経験もある。組織内にこの様なリーダーが存在し実践的な講習を受けることが出来るのは、労山組織の力である。

実際の遭難事故に際し、救助・捜索活動に、労山の救助隊がどこまで係わるか等の疑問はあるが、だからと言って、救助・捜索訓練を軽視してはいけない。

2014年2月22日・23日（予定）には千葉県連救助隊が主管として「関東ブロック救助隊深雪訓練」が実施されます。救助隊関係者は勿論、各会の参加・協力をお願いしたい。



第16回 県連ウイークデー山行募集 主催 ハイキング委員会

山行日 2013年06月06日(木) 日帰り 雨天決行  
行き先 前日光：古峰ヶ原(こぶがはら)高原  
テーマ 花見(つつじ)と歴史探訪  
集合場所と時刻 A車 JR千葉駅NTT前6時15分集合出発  
B車 鎌ヶ谷市役所6:00集合出発=新松戸(流経大前)  
6:30分集合出発  
行程 中型バス(28人) 2台(東北道・佐野SA合流予定)

06日 千葉発6:15=松戸発6:30=東北道=(佐野SA)=鹿沼IC=古峯神社9:20  
(トイレのみ)  
30=古峰ヶ原峠9:40着 (湿原が広がり花盛りを楽しむ)(準備体操して  
ざ出発)  
10:00 出発—50—天狗の庭—5—三角点—10—三枚石 11:05/11:15—10—ツツジ平—20  
—方塞山 11:45  
(昼食)(牧場の前方展望良し) 12:15—25—ロッジ分岐(エスケープ)—40—横根山  
13:20(奥白根、  
皇海山方面展望)/13:30—5—ロッジ下山分岐(エスケープ)—15—井戸湿原(周回)  
—30—象の鼻  
14:20(360°の展望と花を楽しむ)/14:30—25—ハイランドロッジ 14:55着(トイ  
レその他休憩)  
15:20乗車= 途中「深山巴の宿」見学約20分  
=古峯神社16:00頃着 参拝後茶店にて休憩 (歩程約4時間30分:休憩含む)  
17:00乗車=(佐野SA休憩)= 帰路 各地20:00頃着予定  
雨天の場合:ハイランドロッジまで車で行き、井戸湿原又は象の鼻でつつじ観賞の後、引  
き返して古峯  
神社をゆっくり参拝:公園散策(花ショウブ等観賞:入園料自己負担)して茶店で休憩  
して帰ります。  
当日はつつじのトンネルを歩く楽しい山行になると思います。

●道路状況によりスケジュールや時刻等は変更となる場合があります。

1/25,000 古峰ヶ原・足尾  
募集人員 50名 (千葉発25名・鎌ヶ谷発25名)  
費用 5,000円 バス、  
持ち物 山行に必要な装備:コンパス(雨具必須)  
申込み〆きり 5月20日(月)と定員になり次第  
尚、バス予約の為早めに申込みお願いします。  
申込先 各会及び委員で纏めて桑原まで早めに報告をお願いします。

## 県連統一クリーンハイクの案内

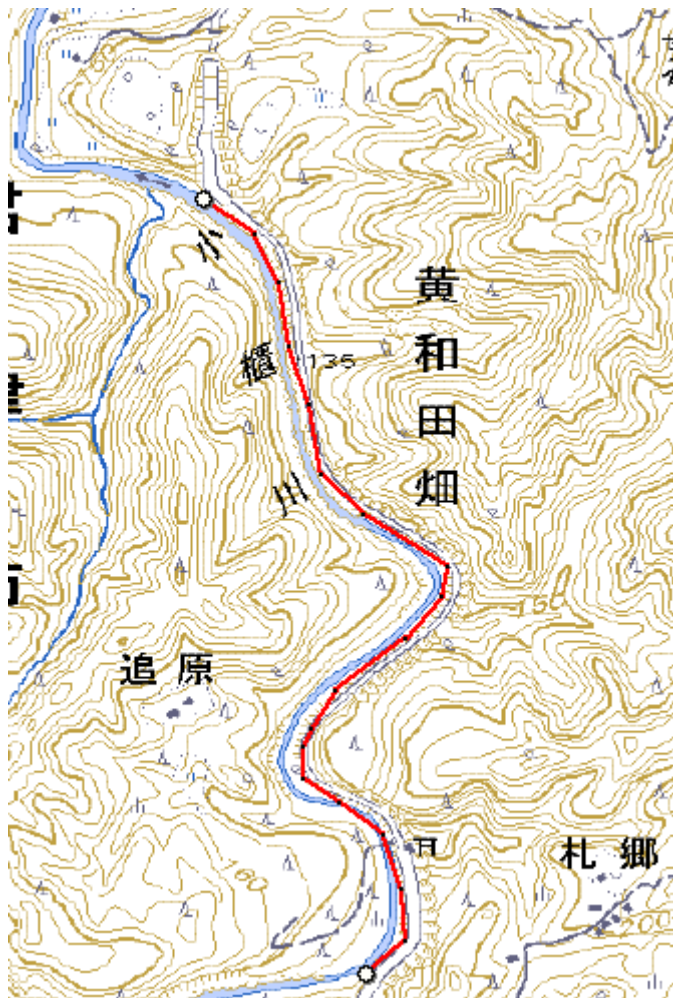
自然保護委員会

自然保護委員会のメインイベント、県連統一クリーンハイクのお知らせです。年一回の取り組みです。各会より多数の参加をお待ちしています。清掃活動終了後、七里川温泉で交流会を実施します。

日時 5月12日(日) 9時40分 集合(作業 10:00~12:00)  
小雨決行します。

場所 七里川温泉先のトンネル~札郷トンネルの間、河原・のり面

集合場所 七里川温泉先、一つ目のトンネルを出た道路脇



札郷トンネル

収容のゴミ袋は 君津市指定の物を こちらで用意します  
回収場所は斜面となっています。  
県連推奨のハイキング7点セットを持っている人は念のため持参ください。

昨年 山蛭に悩まされた方が  
かなりでした。山蛭対策として  
・濃塩水に浸し乾燥させた靴下  
・スパッツと長靴で、なるべく隙間のないよう工夫する。  
・ゴム製の手袋を隙間の無い様に  
使用する  
等をしてください

電車の便が悪いので参加者は互いに  
連絡を取って乗り合わせてください。

◆ ご意見・問い合わせは、千葉県連ホームページ・自然保護委員会まで

# 第7回ワンコイン講習会

主催 千葉県連盟女性委員会

## 体に優しい トレーニング

講師 荒井 美穂先生

楽しく学ぶ・正しく学ぶ

実施日 2013年 6月 8日(土) 13時~16時

場 所 船橋市西部公民館・2F・体育リクレーション室

(JR総武線下総中山駅下車 徒歩 5分)

参加費 ワンコイン(500円)

問い合わせ先:千葉県勤労者山岳連盟 ホームページ事務局への問い合わせまで

### 講師紹介

- ・セントラルスポーツ・インストラクターとして活躍中です。
- ・最新のトレーニング法で、初心者からアスリートまで、幅広く指導し、信頼を得ています。
- ・個々の悩み、希望に親切、ていねいに応えてくれます。

### ワンコイン講習会とは

女性委員会では、いつまでも山に行ける体力を維持するために「楽しく学ぶ・正しく学ぶ」をテーマに実技講習を行なっています。今回は7回目になります。毎回、好評の講習会です。大勢の参加をお待ちしています。特に男性の参加を歓迎します。

女性委員会活動から生まれた

## 「山筋ゴーゴー体操」 パンフ案内

生涯登山をめざして

全国の女性たちと学習と交流を進めながらつながりを深めて来ました。その中からこの冊子も誕生しました。

この山筋ゴーゴー体操を、会やクラブの例会や山行で励行されることをお勧めします。この山筋ゴーゴー体操をきっかけに「あせらず、ゆっくり、前向きに」息長く登山を楽しみましょう  
(あとがきより)



石田 良恵 監修 (一部 200円)

### 石田 良恵 先生プロフィール

女子美術大学名誉教授 (保健学博士)・鹿屋体育大学客員教授・

「女性とスポーツ環境」「体脂肪を確実に燃やすエクササイズ90」など著書多数  
往年のスプリンターで、現在はマスターズ陸上で活躍中

「東京都連盟会員」「全国連盟女性委員」

問い合わせ・購入連絡先：千葉県連盟 広木 国昭 ([danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp))

各会で、有効に活用して下さい。

## 第1期 NPO 法人ちば労山ゆう通常総会報告

理事長 吉田哲治

ちば労山ゆうの記念すべき第1回目の通常総会が船橋市において開催されました。審議内容については次頁の議事録を参照していただき、私よりはこれまでの活動と、総会において決定された今年度の活動方針に関しまして、報告いたします。

### ● 2012年度の活動

#### 1. 会員数

正会員 87名 賛助会員 101名

#### 2. 現地災害支援

9回 延べ人数 190名

石巻労山の支援要請により労山として石巻地区への支援体制が継続し、千葉においてはNPOを立ち上げてからも石巻へ支援を続けてきた。震災直後のがれき撤去作業は、宮城県においては2012年度半ばにおいておおむね終了し、それ以降の支援は内容的に大きく変わることになる。我々が関わってきた牡鹿半島においては、水産業の復興がいち早く求められるものの、浜という浜がすべて壊滅的な被害を受け復興へ向けての人手不足の状況が続き、漁業という生業への支援へとシフトを変えることとなる。

#### 3. 他の支援活動

- ・10月21日(日) 安達太良山鎮魂登山 大型バス2台 89名参加
- ・11月29日(木) 石巻支援の夕べ「被災地への想いを歌おう」船橋・きららホールにて開催 260名参加

#### 4. 事業活動

気仙沼とろろこんぶ・わかめ斡旋販売

### ● 2013年度活動方針

#### 1. 現地支援

牡鹿における漁業支援を継続する。(ほや関係の作業が主)

#### 支援の日程

6月15日(土)～16日(日)	夜行1泊2日
7月13日(土)～15日(月)	夜行2泊3日
8月24日(土)～25日(日)	夜行1泊2日
9月14日(土)～16日(月)	夜行2泊3日
10月19日(土)～20日(日)	夜行1泊2日
11月23日(土)～24日(日)	夜行1泊2日
3月15日(土)～16日(日)	夜行1泊2日

#### 2. 他の現地支援

- ・夜行日帰り弾丸ツアーの企画
- ・1泊買い物ツアー(語り部も)

#### 3. 事業活動

被災地の産直品販売(気仙沼とろろこんぶの継続と新たに牡鹿産わかめの産直品)

#### 4. 財政補助

災害支援車両の高速道路無料化措置の廃止に伴い、1台当たり10,000円の補助

## ちば労山ゆう通常総会議事録

(総会 書記)

● 日時：2013年4月25日(木) 19:00～20:40

● 場所：船橋市西部公民館第一会議室

1. 議運開会宣言 事務局長 角掛(こまくさ)
2. 理事長あいさつ 吉田理事長(船橋勤労者山の会)
3. 定足数確認 正会員 87名 出席 26名 委任状 38名
4. 議長・書記選出 議長 鶴田(ちば山の会) 書記 八角(ちば山の会)
5. 2012年度活動報告 (会員数・活動報告) 吉田理事長  
(とろろこんぶ販売活動) 広木副理事長(ちば山の会)
6. 2012年度会計決算報告 佐藤理事(ふわくHC)
7. 2012年度会計決算についての監査報告 平井監事(かがりび山の会)
  - ・質疑応答
    - Q (質問) とろろこんぶの在庫管理は何処で行っているのか。(かがりび・G氏)
    - A (回答) 50個単位で気仙沼より直送。広木宅で管理している。(広木副理事長)
    - Q 漁業支援がボランティアと言って良いか。生業としている者に対する支援は本当にボランティアとなりえるか。(ふわく・O氏)
    - A そう言う疑問もあり得る。支援の初期段階で一部現地において、特定の業種に対する支援をひかえて欲しいという意見もあったが、積極的に関わって支援することで、そこから地域の雇用に繋がるのではないかと考え、「ゆう」は漁業支援を行っていくことを決めた。(吉田理事長)
    - A 漁業支援は、生活の基盤をすべて失った現地の支えとなり、雇用の広がり期待できる。(平井監事)
    - A 金が入れば、雇用に繋がる。(山本理事)
    - A ボランティアのあるべき姿と生業との関係を分けて考える必要がある。とにかく被災地に行き続けることが大切だ。(遠足クラブ・Kさん)
    - A 復興の公と個人を分けて考えるのは難しい。水産業も農業も手助けをする。生活基盤が安定するまで支援が必要だ。(長池理事)
8. 活動報告、決算に関する採決 賛成多数において可決。
9. 2013年度活動方針案 吉田理事長  
牡鹿産のわかめ販売計画案 山本理事
10. 2013年度会計予算案 佐藤理事
  - ・質疑応答
    - Q 収入において年会費が前年度と3,000円合わないが。(かがりび・W氏)
    - A 決算の年会費収入に誤入金3,000円が含まれていたため。(佐藤理事)
    - Q 現地支援の具体策、どんな事を考えているか。また、企画運営はどこでやるのか。(かがりび山の会 G氏)
    - A 若者向けの弾丸ツアーは6、7千円程度に収まるようにと考えている。買い物ツアーなどは、ゆう独自の企画内容で現地にお金を落としてもらうようにしたい。また、企画運営は役員会でやる。(吉田理事長)

- Q 広報活動については、千葉県連外の一般会員へも活動を発信していくべきではないか。(船橋勤労者山の会・O氏)
- A その点は昨年度の反省点であり、今年度は特に力を入れなければならないと考えている。(吉田理事長)
- Q 活動経験から、牡鹿半島の鹿、サケの遡上見学ツアーなども面白いのでは。(ふわくHC・T氏)
- A 参考にする。6月はほやの育成状況を監察する船を漁師さんに出してもらい予定であり、被災地・災害支援に関心を持ってもらう企画・内容をこれからも考えていく。(吉田理事長)
- Q 今年度の現地支援の作業内容は具体的に決まっているか。(松戸山の会・K氏)
- A 牡鹿におけるほや関係の作業が主。(吉田理事長)
- Q 気仙沼産のとろろ昆布、わかめと牡鹿産のわかめの販売では競合するのでは。(1年さくら組・K氏)
- A 気仙沼と牡鹿のわかめでは品質が違うので競合しない。(山本理事)
- A わかめ販売は今までと違う販売方法を考える必要がある。だれがどういう方法でやるか、また、わかめこんぶだけではだめだ。(広木副理事長)
- 他の意見として、

- ・仮設住宅のボランティアも大切だ。体験から情報をもっと集める必要がある。(長池理事)

- ・ボランティアの内容を広げる必要がある。(平井監事)

11. 方針案・予算案の採決 賛成多数において可決
12. 議事録署名人の選出 桑原(松戸山の会) 岡田(船橋勤労者山の会)
13. 議運閉会宣言 広木副理事長

#### 2013年度役員体制

理事長	吉田	哲治	(船橋勤労者山の会)
副理事長	広木	国昭	(ちば山の会)
理事	山本	尚徳	(かがりび山の会)
同	佐藤	勝子	(ふわくハイキングサークル)
同	長池	康雄	(ちば山の会) 新任
同	村尾	憲治	(ちば山の会) 新任
同	宮本	周作	(山の会らんたん) 新任
監事	平井	昭	(かがりび山の会)
事務局長	角掛	詢子	(千葉こまくさハイキングクラブ)

以上





## ゆう便り (NPO ちば労山ゆう) No3

平井 昭 (かがりび)

今年最初の、石巻の表浜が漁業支援の現場でした。時期的にワカメの収穫期だった為に、いつもの谷川浜周辺のホヤの養殖の作業は有りましたが、僅か2ヶ月の3月・4月のワカメの収穫期に合わせ、猫の手も借りたい位の緊急・急務を要する表浜のワカメの養殖に、渥美さんの好意で全員ワカメ収穫の作業に振り分けられました。

今回は9の会より一般含めて25名が、車一台とマイクロバス(19名)で参加。現場朝7時半に集合なので、高速Pで途中の仮眠を取らずに谷川浜に直行、現場のホワイトハウス(ビニールハウス)にブルーシートを敷き、各自マットや段ボールの上にシュラフを敷いて仮眠を取りました。

作業は養殖されたワカメを船からフォークリフトで加工所のコンクリート床に運びこまれた物を、ベテランのプロが適当な大きさ(30~40cmのメカブの部分と、ワカメの部分)にカットし、それぞれの部分を更に細かく別ける作業をお手伝いしました。メカブの作業は茎の両側についている耳(耳状の形のメカブ)を削げ取る作業で、先がYの字様に成っているナイフでメカブと茎を切り離し海水入りの水槽にメカブを入れ、茎は廃棄物(最終的には畑の肥料になるようです)。ワカメの部分は、ワカメの部分を『まつ毛』と言いまつ毛のもと10cm位を残して切り取り、切り取られた部分は茎ワカメに加工され、まつ毛の部分は、湯がいて冷やされた物を網に袋詰められ、次



メカブの作業風景

に洗濯機用の塩蔵処理機に入れられ50分攪拌され、塩蔵ワカメが出来上がる。水分を切り袋詰めされれば市販品に成る訳です。

従って今回はこのメカブとワカメの作業に従事しましたが、3名だけ漁船に乗り海の上で、直接養殖ワカメの取り入れに従事。百m幅に40cm間隔でロープに植えつけられたワカメを機械で引き上げる際、鎌で直接ワカメの根元を切り船に収穫する、腕力勝負に挑ん

だ強者がいた事も報告します。

僅か2ヶ月で2~3000万円の収入も有る事を間接的に聞きましたが、3~4月に収穫出来ない、海の中で腐って売り物には成らないそうです。又多くの養殖ワカメをやっている所は、家族を総動員して老若男女が働き、それでも足りなく、アルバイトや季節労働者も働いています。ハローワークにも求人を掛けて



メカブを茎より切り離す作業

もいるようですが、現状は足りなくて困っているようです。

季節労働者の方の全てでは有りませんが、ボランティアそのものに偏見を抱いている様子も伺えました。がプロの仕事を、ボランティアが奪う事は全く有りません。素人のやる事は、プロの仕事を全く圧迫しない処か、彼らの仕事を楽にしています。でも労働時間は私達の比では無いようです。そんな彼らから見ると、遊び半分に仕事しているかに見えても仕方が有りません。

10人居れば10人の意見が有ります。私達に出来る事は、要請が有った所に、黙々と手伝って、現地の人に少しでも楽をして貰う事。少しでも役立つ事に手を貸すこと。お礼は感謝の一言だけ。でも今回は現物支給で4件に別れて作業したそれぞれにメカブとワカメのご褒美が有りました。

今回の表浜で感じた事は、短期決戦でのワカメの作業だったからだと思いますが、自宅を手伝う高校1年生の水産高校生が実に素直で家族の云う通りに仕事をして、その姉やら、友人、友人の母親、父母は勿論家族一体となってワカメ一筋の力の入れよう、僅か半年で養殖が完結して半製品になり、お金に成る事に、浜全体が活気づき、二日目は雪がちらつき寒かったけれど、まるでホットスポットのようなエネルギーを感じました。

やはり仕事が有り、お金が入る所には、人は集まりエネルギーを生み出す力が有る事。生活の多くを破壊され流失された人々が、仕事を得て、働き収入を得る事は、正に復興の力に成る訳で、彼らが儲かる事で、行政の遅々として進まない復興に、自ら復興の礎を築いていく漁師達のエネルギーを感じました。人間、欲が有ると、より活動的に活発に動ける一面を、目の当たりにして私自身の力を、元気を頂きました！（でも正直、身体は疲れました）

# 県連たより

## 県連盟連絡先

- ◎ 千葉県勤労者山岳連盟事務所  
〒262-0033  
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18  
レジデンス幕張台 101 号室  
TEL・FAX： 043-306-1190  
Eメール：[rousanchiba@grape.plala.or.jp](mailto:rousanchiba@grape.plala.or.jp)  
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
- ◎ 千葉県連ホームページ  
<http://www.cwaf.jp>
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先  
[danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp)
- ◎ 事故一報送付先  
教遭委員長・岡田 賢一  
[ken-ichi@f4.dion.ne.jp](mailto:ken-ichi@f4.dion.ne.jp)  
Fax：043-271-4704  
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず送付の事。
- ◎ 連盟費振込み先  
郵便振替口座 00160-3-481509  
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先  
口座番号：ゆうちょ銀行  
00240-8-98419  
加入者名：NPO法人 ちば労山ゆう  
代表者 吉田 哲治

☆ 事務局のお手伝いを、常時募集中  
事務所の片付け・資料の整理など  
一人でもお友達と一緒にでも大歓迎です。  
連絡は：広木までお願いします

## NPO法人「ちば労山ゆう」

- ◎ 「ちば労ゆう」への入会は  
千葉県連盟ホームページからも  
入会出来ます。  
・入会申し込みは

<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>

- ・「ちば労山ゆう」への問合せは

<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>

- ・入会情報（3月末）

正会員数	87名
賛助会員数	101名
合計	188名

NPO「ゆう」総会のお知らせ

4月25日（木）NPO総会が行なわれました。

「ゆう」も2年目の活動を開始しました。まずは、新しい仲間を大勢迎えたいと思います。ご協力をお願いします。

- ★ 正会員・賛助会員の更新手続きをお願いします。

## 支援物資のご案内

気仙沼産「わかめ」が入荷しました。3月より、ワカメの水揚げが行われています。わかめの旬ももうすぐ終わります。食べごろは「今でしょう」、前田商店からの入荷です。とろろ昆布の在庫もあります。

問い合わせ・注文は下記アドレスに多少にかかわらずご連絡を下さい。

[danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp)  
090-8316-2020

## 県 連 活 動 予 定 表

5月		行事予定	6月		行事予定
1	水		1	土	
2	木		2	日	
3	金		3	月	女性委員会
4	土		4	火	役員会
5	日		5	水	
6	月		6	木	ウィークデイ山行
7	火	役員会	7	金	ワンコイン講習会
8	水		8	土	
9	木		9	日	
10	金		10	月	
11	土		11	火	
12	日	県連統一クリーンハイク	12	水	
13	月	女性委員会(17時)	13	木	
14	火		14	金	
15	水		15	土	NPO支援活動
16	木	県連理事会	16	日	〃
17	金		17	月	救助隊定例会
18	土	戸隠コンサート	18	火	
19	日	〃	19	水	
20	月	救助隊定例会	20	木	県連理事会
21	火		21	金	
22	水		22	土	
23	木	組織委員会(拡大検討部会)	23	日	
24	金		24	月	
25	土		25	火	
26	日		26	水	
27	月	NPO役員会	27	木	組織委員会(拡大検討部会)
28	火	ハイキング委員会	28	金	
29	水		29	土	全国組織担当者会議
30	木		30	日	〃 全国事務所
31	金				

発行者 : 千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190 (事務所には常駐者はいません)

発行責任者 : 吉田 哲治 編集責任者 : 広木 国昭

問い合わせ先 : 千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ